

# 力エル キヤッチ!

## ルール説明書



### ～STORY～

カエル捕り大会に来た子どもたち。蓮の葉に隠れた色とりどりのカエルを見つけたら、同じ色のタモで捕まえましょう。時には、誰かが持っているタモを「ください !!」ともらっちゃうことも必要です。『力エルキヤッチ』は、記憶力が勝負のカギとなる神経衰弱系ゲームです。

## 内容物

- 説明書
- カード 36枚

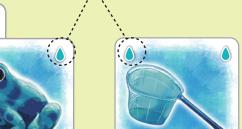
ウラ面



カードの四隅に、色ごとに異なるマークがついています。



カエルカード

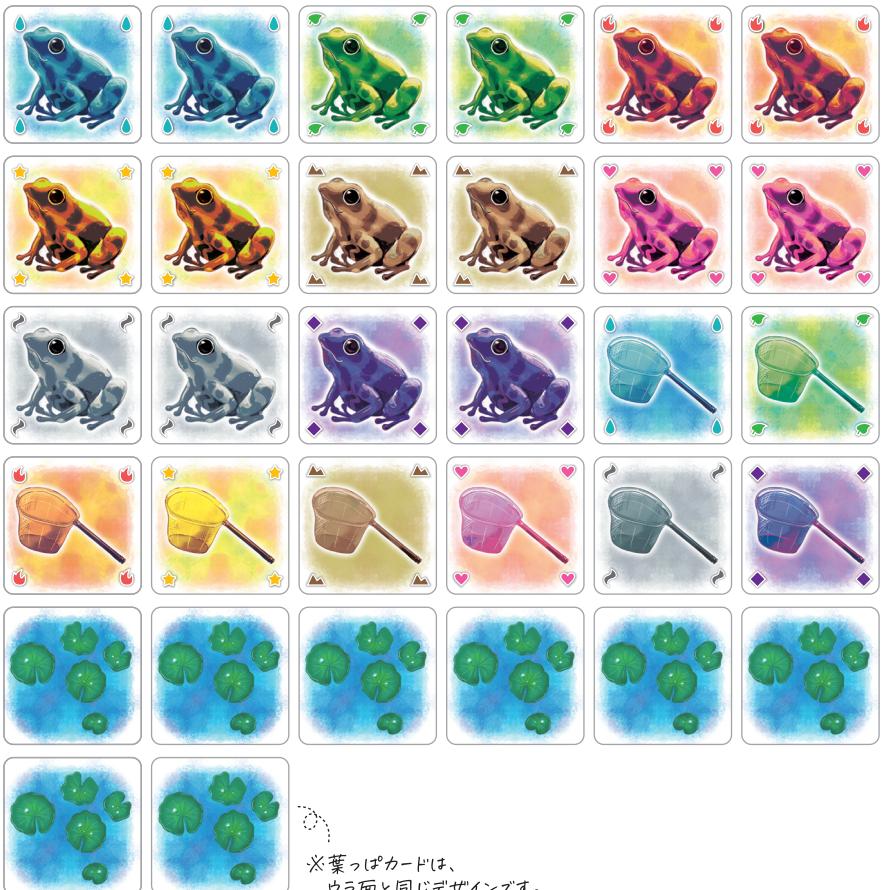


タモカード

一色につきカエルは2枚あり、タモは1枚しかありません。

オモテ面

- 通常カード 32枚 (カエル 8色 ×2枚、タモ 8色 ×1枚、葉っぱ 8枚)



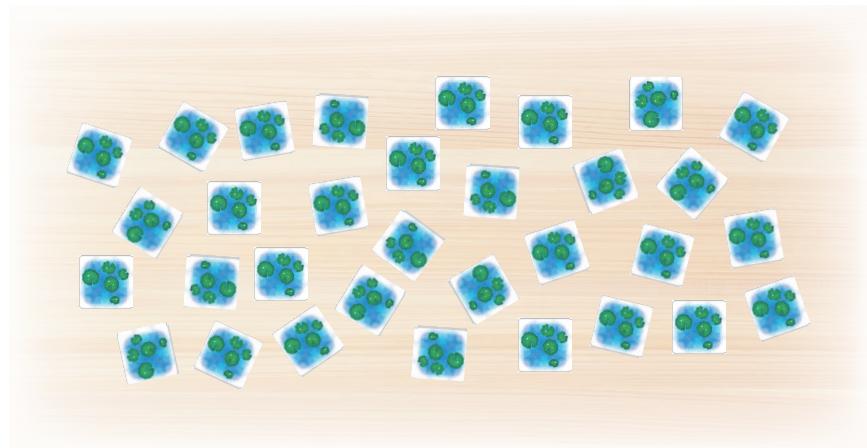
※葉っぱカードは、  
ウラ面と同じデザインです。

- 特殊カード『2色のカエル』4枚 (上級ルールに使用します)



# ゲームの準備

すべての通常カードを葉っぱの面を上にして重ならないようにテーブルに広げます。  
※両面ともに葉っぱのカードが8枚あります。どちらの面を上にしていても構いません。  
(以下、広げたカード全体を「場」と呼びます。)  
特殊カードは上級ルールに使いますので、初めて遊ぶ場合は箱に戻してください。



# ゲームの目的

『カエル』と『タモ』のカードをたくさん集めることです。

## ゲームの流れ

時計回りの順で1人ずつ自分の番を行います。

もっとも最近カエルを見た人からゲームを始めます。決められない場合は、ジャンケンなど適当な方法で決めてください。

### 自分の番にすること

場のカードを1枚ずつ順に2枚めくります。

!  
 **1枚目が『葉っぱ』の場合**  
すぐに自分の番を終わります。

?  
 **2枚のカードが、同じ色の『カエル』と『タモ』の場合**  
⇒その2枚のカードをもらって、自分の番を終わります。  
**例外:3枚目のチャレンジ(後述)**  
 もらったカードは、葉っぱの面を上にして手元に重ねて置きます。  
すでにもらったカードがある場合、そこに重ねて束にします。

✗  
**2枚のカードが、同じ色の『カエル』と『タモ』ではない場合**  
⇒なにももらえません。  
めくったカードを葉っぱの面を上に戻して自分の番を終わります。

『カエル』と『タモ』だけけど、色がちがう  
同じ色だけど、2枚とも『カエル』  
2枚目が葉っぱだった

## ○○色の『タモ』は誰かが持っている!?

1枚目に『カエル』をめくった時に、2枚目を「場」からめくる代わりに、同じ色の『タモ』を持っていると思う人に「○○色のタモをください」とお願ひすることができます。

自分が持っていると思ったら、「○○色のタモは自分が持っています」と言っても良いです。

※お願ひするのは1枚目にめくった『カエル』と同じ色でないといけません。

お願意された人は、これまでに集めたカードの中身を確認して、その色の『タモ』を持っていたら、渡さなければなりません。持っていたら、「持っていません」と伝えます。

「自分が持っている」と言った場合も同じように自分の集めたカードの中身を確認して、その色の『タモ』を持っていたら、みんなに見せます。

「場」からめくった時と同じように、『タモ』を見つけることができれば、1枚目にめくった『カエル』とその『タモ』をもらって、自分の番を終わります。

## 重要なルール!!

もらったカードの中身を見る能够性があるのは、誰かに「○○色のタモをください」とお願意された時か、自分で「○○色のタモは自分が持っています」と言った時のみです。

それ以外のタイミングで自分の集めたカードの中身を確認することはできません。

## 3枚目のチャレンジ

自分の番に、同じ色の『カエル』と『タモ』をめくったら、そのカードをもらう前に、3枚目をめくることができます。

### 同じ色の『カエル』をめくれた

⇒チャレンジ成功です。

同じ色の『カエル』をめくれたら、3枚とももらって、自分の番を終わります。



チャレンジ成功

### 同じ色の『カエル』をめくれなかった

⇒チャレンジ失敗です。

同じ色の『カエル』をめくれなかったら、3枚とも葉っぱの面を上に戻して、自分の番を終わります。



チャレンジ失敗

## ヒント!

同じ色のカエルは2匹しかいません。そのため、3枚目のチャレンジに成功すると、『タモ』を取られる心配がなくなりますが、失敗すると、1・2枚目にめくったカードももらえなくなります。自信がなければ、チャレンジしない方が良いでしょう。

## 間違えやすいルール

1・2枚目に同じ色のカエルをめくったからと言って、3枚目のチャレンジで同じ色のタモを探すことはできません。

## ゲームの終了

テーブルにカードが8枚になったらゲーム終了です。

ゲームが終了した時にもっともたくさんカードを持っている人の勝ちです。

もっともたくさんカードを持っている人が複数いたら、『カエル』カードをたくさん持っている人の勝ちです。それも同じなら一緒に勝ちを喜びましょう。

# 上級ルール『2色のカエル』

ゲームの準備の際に、通常カード32枚に特殊カード『2色のカエル』4枚を混ぜます。

## 『2色のカエル』



2色のカエルがいます。

このカードをもらうためにはその色の『タモ』カードが2枚とも必要です。

自分の番にめくった2枚のカードが『2色のカエル』とどちらかの色と同じ色の『タモ』だったら、もうひとつの色の『タモ』を見つけるために、必ず、3枚目のチャレンジをします。



『2色のカエル』と同じ色の『タモ』をふたつとも見つけることができた場合  
⇒チャレンジ成功です。その3枚のカードをもらって、自分の番を終わります。



1枚目



2枚目

チャレンジ!



3枚目

チャレンジ成功



『2色のカエル』と同じ色の『タモ』を見つけることができなかった場合

⇒チャレンジ失敗です。めくったカードを葉っぱの面を上に戻して自分の番を終わります。



1枚目



2枚目

チャレンジ!



3枚目

チャレンジ失敗

## 間違えやすいルール

1・2枚目に『タモ』をめくったからと言って、3枚目のチャレンジでその2色のタモと同じ色の『2色のカエル』を探すことはできません。

## 通常ルールからの変更点

- 『2色のカエル』をもらうために、3枚目のチャレンジで、誰か(自分)に「〇〇色のタモをください」とお願いすることができます。  
※通常ルールの場合、3枚目のチャレンジは、必ず『カエル』を探すため、誰かにお願いすることはありえません。
- 2枚目を誰か(自分)にお願いして『タモ』をもらった場合でも3枚目のチャレンジができるようになります。  
※通常ルールの場合、『タモ』を誰か(自分)からもらえた場合、「場」にその『タモ』と同じ色の『カエル』は残っていないので、3枚目のチャレンジをすることはありえません。

例:A君は、自分の番で、黄&紫の『2色のカエル』と黄の『タモ』と紫の『タモ』をもらいました。その次にB君は、1枚目に黄の『カエル』をめくったため、2枚目にA君から黄の『タモ』をもらいました。ここで自分の番を終えることもできましたが、3枚目のチャレンジをすることにしました。見事に黄の『カエル』を見つけたため、3枚のカードをもらって自分の番を終えました。

- 誰か(自分)にお願いして『タモ』をもらったのに、3枚目のチャレンジに失敗したら、その『タモ』は元の持ち主に返します。

『カエルキャッチ』をご購入いただき、ありがとうございます。



twitter @burekekegames

ぶれけゲームズHP

<https://ryutaro5296shark.wixsite.com/brekekegames>